

ものづくり日本大賞関連実施事業

令和6年度概算要求額 0.2億円（0.0億円）

事業の内容

事業目的

日本の産業や文化を支えてきた、製造業の最前線で活躍する各世代の優秀な人材の功績を広く世の中に伝え、ものづくり全般についての国民的関心を高めることで、ものづくりに携わる人材の意欲を向上させるとともに、ものづくりに係る技術及び技能を更に発展させ、次世代へ着実に継承していくことを目的とする。

事業概要

製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりに携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材に対して内閣総理大臣賞等を授与する「ものづくり日本大賞」を実施するため、以下の取組を行う。

- (1) 第10回ものづくり日本大賞の募集に向けた広報事業
募集にあたり、応募書類の入手から応募までワンストップで対応可能な専用HPやパンフレット、ポスター等の制作、応募促進に向けた、各種媒体を用いた広報事業を行う。
- (2) 受賞候補案件の募集に係る事業
受賞候補案件の募集におけるHPの運営や申請受付等の事務局運営を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



応募促進用パンフレット
※第9回（令和3年度）時



第9回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞表彰式の様子
※令和5年1月17日 於首相官邸

成果目標

平成18年度からの事業（終了予定なし）であり、短期的には、ものづくり日本大賞への応募件数の増加を目指す。最終的には、全新規学卒者数に対する製造業の新規学卒者数の割合向上に貢献し、ものづくり日本大賞の受賞企業における意欲や知名度の向上といった波及効果を創出するとともに、ものづくりに対する国民的関心を高めることを目指す。